

資料提供
 令和5年9月29日
 課名 新型コロナウイルス感染症対策担当
 (感染症・疾病管理センター)
 担当者 西川
 電話(直通) 082-513-3068
 (内線) 3068

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(令和5年9月解析分)

◎ 今月のトピックス

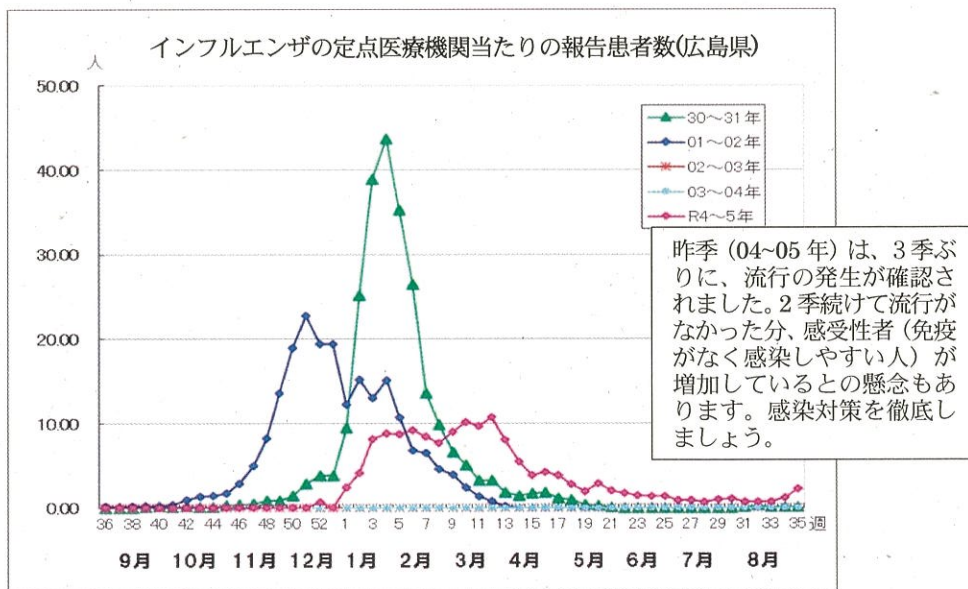
■ 季節性インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは同時接種可能です！！

- 例年よりも早い9月下旬から、季節性インフルエンザワクチンの供給が開始され、順次接種が始まります。新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンについては、間隔の規定が廃止されたため、同時接種が可能となりました。

厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会 (令和4年7月22日開催)

知見の蓄積と諸外国の対応状況等を踏まえ、新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンについては、間隔の規定を廃止し、同時接種を認めることとする。ただし、新型コロナワクチンとインフルエンザワクチン以外のワクチンとの接種については、引き続き13日以上の間隔を開ける。

- 季節性インフルエンザワクチンは、流行のピークに間に合うよう、例年12月中旬までに接種を終えていることが望ましいとされています。
- 国内のインフルエンザについては、今年2月中旬以降定点当たりの報告数が直近5年間の同時期と比較して多い状態で推移しており、例年より流行が早まる可能性があることや、新型コロナウイルス感染症と症状の類似した疾患による医療負担を軽減する観点から、積極的なインフルエンザワクチン接種の検討をお願いします。
- 新型コロナワクチンとインフルエンザワクチン以外のワクチンの接種については、互いに、片方のワクチンを受けてから13日以上の間隔が必要です。特に子どもの場合は、定期接種でワクチンを接種することもあるため、予め計画を立てた上での予約をお願いします。



■ 今季の季節性インフルエンザワクチンの供給量

厚生労働省によると、今季の供給量は、通常年の使用量を超える見込みです。例年の接種開始(10月1日)時点における65歳以上の高齢者(約3,590万人)の約9割が1回ずつ接種できる量に相当します。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和 5年 8月分(令和5年8月7日～令和5年9月3日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	547	1.23	0.05	↗	11	ヘルパンギーナ	240	0.86	0.60	↓
2	新型コロナウイルス感染症(covid-19)※1	6,173	13.87		→	12	流行性耳下腺炎	16	0.06	0.06	↗
3	RSウイルス感染症	196	0.71	0.38	↓	13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
4	咽頭結膜熱	107	0.38	0.28	↘	14	流行性角結膜炎	27	0.36	0.52	↘
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	374	1.35	0.55	↘	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
6	感染性胃腸炎	808	2.91	2.67	↘	16	無菌性髄膜炎	5	0.06	0.01	
7	水痘	22	0.08	0.10	→	17	マイコプラズマ肺炎	0	0.00	0.03	
8	手足口病	457	1.64	0.92	↗	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	伝染性紅斑	0	0.00	0.07		19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.02	
10	突発性発しん	67	0.24	0.34	→	※1 第19週(5/8～)から五類に変更。					

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和 5年 8月分(8月 1日～8月 31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	103	4.48	3.36	↗	24	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	86	4.10	3.15	→
21	性器ヘルペスウイルス感染症	29	1.26	0.93	↗	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	0.10	0.11	
22	尖圭コンジローマ	15	0.65	0.74	→	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.05	0.01	
23	淋菌感染症	35	1.52	1.04	→	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 なし
○急減疾患 RSウイルス感染症
ヘルパンギーナ

(2.23 → 0.71)
(3.06 → 0.86)

発生記号(前月と比較)

急増減	↗	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患, 月報対象7疾患)について, 県内176の定点医療機関からの報告を集計し, 作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1~12	13, 14	20~23	15~19, 24~26	
定点数	42	71	19	23	21	176

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	42	結核(42)〔西部保健所(4), 西部東保健所(1), 東部保健所(8), 広島市保健所(15), 呉市保健所(5), 福山市保健所(9)〕
三類	12	腸管出血性大腸菌感染症(12)〔西部東保健所(1), 広島市保健所(2), 福山市保健所(9)〕
四類	24	A型肝炎(1)〔北部保健所(1)〕
		デング熱(1)〔広島市保健所(1)〕
		レジオネラ症(4)〔西部東保健所(1), 広島市保健所(2), 福山市保健所(1)〕
		重症熱性血小板減少症候群(SFTS)(4)〔広島市保健所(1), 呉市保健所(1), 福山市保健所(2)〕
五類	50	日本紅斑熱(14)〔東部保健所(8), 北部保健所(1), 呉市保健所(2), 福山市保健所(3)〕
		アメーバ赤痢(3)〔広島市保健所(1), 福山市保健所(2)〕
		ウイルス性肝炎(2)〔広島市保健所(2)〕
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(7)〔北部保健所(2), 広島市保健所(2), 呉市保健所(1), 福山市保健所(2)〕
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)〔呉市保健所(1)〕
		侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕
		侵襲性肺炎球菌感染症(2)〔東部保健所(1), 広島市保健所(1)〕
		水痘(入院例)(1)〔広島市保健所(1)〕
		播種性クリプトコックス症(1)〔東部保健所(1)〕
梅毒(31)〔西部保健所(1), 東部保健所(2), 広島市保健所(22), 福山市保健所(6)〕		